

第3回 掘った、通した！ 新川開さくの軌跡

五郎左衛門はなぜ新川を掘ったのか？

蒲原平野の「悪水」を海に流したい

内野のまちを貫いて流れる新川。この川が江戸の末期に、人の手によって掘られた川であることをどれだけの人知っているだろうか。

昔から、蒲原平野の農民たちは水害に苦しんできた。この辺りは、はるか昔は海で、信濃川と阿賀野川が運んできた土砂が堆積し、海からの風と砂丘とが長い間をかけて越後平野をつくりあげた。蒲原平野は海拔ゼロメートル地域。たびたびの洪水で3年に1度しか米がとれなかった。「蒲原平野の『悪水』を海に流すため、川を掘らせてください」

農民たちは幕府、長岡藩に嘆願したが許可されなかった。長岡藩と新潟湊を結ぶ西川が流れており、西川に直角に川を掘って洪水にでもなれば、新潟湊が機能しなくなる恐れがあったからだ。

川の下に川を通す最大級の土木プロジェクト

80年にわたる陳情の結果、やっと許可が下りた。しかし「金は出せない」という。

「仕方がない。おれたちの手で掘ろう」
立ち上がったのが中野小屋の庄屋の割元・伊藤五郎左衛門だった。庄屋たちで資金を出し合い、川を掘ることを決めたのだ。

西川との交差部分には高さ約1.2m、幅約5.4m、長さ約76mもの木製のトンネルを埋める(底樋)。掘削でわき出す水は「踏み車(人力水車)」でくみ上げ、下流では高さ約16mの金蔵坂を切り崩し、「かつぎもっこ」や「背負いかご」で砂を運んだ。その模様を江戸の戯作者十返舎一九が、著書「滑稽旅加羅寿」で「多くの見物人を集める新川工事」と紹介している。

文政3(1820)年、工事は完成した。しかし、借金がかさんで五郎左衛門は破産し、一家離散の憂き目に遭ってしまった。

内野は新川開さくによってできたまち

その後も改修工事が行われ、明治42年には、コンクリートと煉瓦のトンネル「暗こう」が完成。昭和30年には新川の上を西川が流れる水路橋が完成。川の上を川が流れる「立体交差」となった。「開さくから改修まで、工事にたずさわった人たちは大正初期までに延べ200万人。全国からさまざまな価値観を持った人たちが大勢移り住んでまちができました。だから『内野は、どこのまちとも違っておもしろい』と言われる。内野は新川開さくによってできたまちなんです。伊藤五郎左衛門は内野のまちの誇り。その偉業や、内野のまちのなりたちを多くの人に知ってほしい。私たちが伝えていきたいと思います」と越後新川まちおこしの会会長の中山真さん(72)は語る。



新川暗こう竣工式。人々の背後の巨大な穴の中を新川が流れ、頭上を西川が流れた。



川と川の立体交差。新川の上の水路橋を西川が流れる。上皇陛下は皇太子時代に見学された。

五郎左衛門の芝居を小学生が演じた

越後新川まちおこしの会は、新川開さくや内野



内野は新川開さくによってできた。空からの視点で眺めると、歴史、文化、生活が見えてくる。

のなりたちを伝えるさまざまな活動を行っている。10年ほど前、五郎左衛門の偉業をテーマとした芝居をつくり、小学校、中学校、公民館などで上演したことがあった。一昨年、しばらく途絶えていたその芝居を復活させたいという声がかかった。「ぜひ子どもたちにやらせたいのです」

内野小学校からだった。それも、4年生の全員150人で演じるという。大人向けに書かれ、古い内野の方言が混じった芝居を、いまの子どもたちがどのように演じるのか。

「物語を5幕に分け、1組から5組までが、それぞれ台詞役と演者役に分かれて演じるのです」

なるほど、その方法なら全員が参加できる。



内野小4年生全員で演じた五郎左衛門の劇「掘った、通した！ 新川開さく物語」

今年も1月、保護者を招いて芝居が上演された。最後には全員が「五郎左衛門ありがとう」を熱唱した。こどもの台本を読んで、内野のなりたちがわかったと感想を寄せる保護者も多かったという。「劇をやることで、五郎左衛門のことや内野のことが勉強できる。将来、内野を出てもここに残っても、生まれ育ったまちを誇りに思える人物になってほしい」と高野寛先生(28)は言う。

子どもたちの活動を通じて、五郎左衛門の伝説が語り継がれていってほしいと思った。

■取材・文 広報紙編集部 古俣慎吾

■空からの内野、暗こう竣工の写真は、「新潟水辺の会」の加藤功さん提供

新川クロスワードパズル

①	②	③	E	④	F	⑤
⑥				⑦	B	
	C		⑧			
⑨	⑩		G			⑪
⑫			⑬	A	⑭	
⑮			⑯	D	⑰	
		⑱				

A	B	C	D	E	F	G
---	---	---	---	---	---	---

タテのカギ

- 蒲原平野に新しい川を掘った庄屋のリーダー、伊藤 ○○○○○○
- 今年は「○○どし」
- 犯罪捜査で証拠物件を科学的に分析すること
- 音声が届かない人に、指、手、腕などを使ってコミュニケーションをとる方法
- 地表や海面などで水蒸気が凝縮して漂う様子
- 結婚式やセレモニーなどで、式典を進めること
- 座るときや寝るときに敷く、布団など柔らかい敷物
- することがなく、時間をもてあますこと。
- 人間の5つの味覚のひとつ。料理が引き立つことも
- にとらわれていては、未来が見えない
- 詩や歌で、文頭や文末で似た音の響きを使い、イメージを膨らませること。「○○を踏む」

応募のきまり

- ◆広報紙表面記載の事務局まで、①クロスワードの答え、②広報紙や自治協議会活動についてのご意見や感想、③住所・氏名・連絡先を明記し、メール(件名は「クロスワードの答え」としてください)、または郵送にて送ってください。

ヨコのカギ

- 昔は「サクラサク」とお祝いの電報が届いた
- 「日本は○○があるから美しい」といわれる
- ユメや理想、冒険心などを表すことば
- 沖縄県那覇市、琉球王朝の中心だったところ
- 約200年前に掘られた西区内野町を貫く川
- 床の間などをそなえ、客間やハレの場として使われる格式の高い和室
- 十干・十二支を組み合わせ、暦・方位・時間などを表す。日本では十二支を指すのが一般的
- 海や川に棲み、固い殻を持つ軟体動物
- 「睡蓮」などで知られる19世紀・フランス印象派の画家
- 日本以外の国
- これが続くとつらく、健康にも良くない

メールでの応募は右の二次元コードから



- ◆締め切り3月31日(火)(必着)
- ◆正解者の中から抽選で5名に1,000円分の新潟市共通商品券を贈呈します。
- ◆当選者の発表は商品券の発送をもって代えさせていただきます。